

●今月の法語カレンダー●
信心の人を
真の仏弟子といえり

私たちは「信心」を、一生懸命に信じる心と考えます。しかし親鸞聖人は自らが起こす心ではなく、阿弥陀さまのはたらきよって「めぐまれる心」であると示されました。浄土真宗の『教章』には、「阿弥陀如来の本願力によって信心をめぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき浄土に生まれて仏となり、迷いの世に還つて人々を教化する」とあります。貪り怒り愚痴の人生より、感謝の心を忘れず喜びの人生を送るほうが幸せです。阿弥陀如来の導きに遇い、願われた幸せな日々を、仏法に聞いていきましよう。

10月の予定

- 2日(土)午前10時 納骨堂合同参拝
- 3日(日)午前7時 朝の日曜礼拝
- 3日(日)午前8時 抹茶を楽しむ会
- 5日(火)～7日(木) 京都西本願寺 念仏奉仕団



- 8日(金)午後1時半 れんげ会(婦人会) お経を練習しましょう!
- 9日(土)午後2時 グランドゴルフ(駐車場)
- 10日(日)午前7時 朝の日曜礼拝
- 12日(水) アソカ園ボランティア
- 13日(水) 日帰り門信徒会旅行 参加者募集しています!

- 13日(水)午後12時半 ヨーガ教室
- 17日(日)午後3時 朝の日曜礼拝
- 17日(日)午後3時 雅楽教室
- 19日(火)午後2時 踊り教室
- 20日(水)午前11時 写経教室
- 20日(水)午後1時半 定例法座
- 【講師】内田正祥師(三重)
- 22日(金)～24日(日) 築地「常例布教」(若住職)
- 23日(土)午後3時 壮年会
- 【お正信偈】を学んでいます
- 24日(日)午前7時 朝の日曜礼拝
- 26日(火)午前9時 グランドゴルフ(駐車場)
- 26日(火)午後2時 踊り教室
- 27日(水) 千葉組総代研修会(築地)
- 27日(水)午後12時半 ヨーガ教室

- 27日(水)午後1時半 囲碁クラブ
- 29日(金)午前9時 ボラン寺(寺報発送作業) お手伝いお願いします
- 築地「常例布教」(若住職) 30(土) 午後2時半 芋堀り 午後3時 芋煮会 (ふれあい農園) どなたでも自由にご参加下さい!
- 31日(日)午後3時 朝の日曜礼拝
- 11月の主な予定
- 6日(土)午前9時 おみがき(お寺の大掃除)
- 23日(火) 報恩講/門信徒会入門式



↑ 昨年の「報恩講」法要の様子。ぜひお参りをご予定下さい。

まずはお聴聞、ご法話を聞きましょう!

10月の定例法座

私たちは知らず知らずのうちに、自分ばかりが正しいと思い込み、自我に固まってしまいます。自らを自らで苦しめてしまうのが、私たち凡夫のすがたであり、そんな私たちだからこそ救わずにおかないと、阿弥陀さまが願いを立てられました。阿弥陀さまの願いに触れ、固まった心をほぐしましょう。仏法はまずお聴聞から。多くのご参詣をお待ちしております。

【講師】 内田 正祥 師
三重県正覚寺住職/本願寺派布教使



- 午前11時 「写経会」 参加自由、『正信心仏偈』を写経中です
- 午後1時半 「法座会」 お参り自由、勤行・法話・茶話会、～午後4時頃終了予定

9・10・11月にご命日を迎える方は過去帳をお持ち下さい。尊前にお供えします。

お手伝いお願いします

11月6日(土) 午前9時より「おみがき」があります。「報恩講」を迎えるにあたり、年に一度のお寺の大掃除です。ぜひ多くの方にお手伝いいただきたく、お願いいたします。



「囲碁クラブ」誕生

囲碁は手談ともいわれ、お互いの主張を問う楽しいゲームで、頭の体操にピッタリです。中年からでも強くなれます。また初めての方には、丁寧に指導いたします。どうぞご参加下さい。お待ちしております。



対局日(指導日)は 天真寺にて9月より 毎月第2・4水曜日 午後1時半より

また使わない碁盤、碁石がありましたら、ご寄付下さい。

27日(水)午後1時半

囲碁クラブ
ボラン寺(寺報発送作業) お手伝いお願いします
築地「常例布教」(若住職) 30(土) 午後2時半 芋堀り 午後3時 芋煮会 (ふれあい農園) どなたでも自由にご参加下さい!



天真寺の墓地 「大町やすらぎパーク」

北総線「大町」駅から徒歩3分の好立地です。ご希望の方は、お気軽にご相談下さい。



完成しました! 「永代合葬墓」

やすらぎ堂 大町やすらぎパーク内 納骨懇志20万円から



あんのん堂

京都・大谷本願内 納骨懇志30万円から



永代にわたり天真寺が護持いたします。以後の管理料等は一切かかりません。お念仏の心を次の世代に伝える依りどころとして…。跡継ぎがない方には、安心をかたちにして…。

一口法話
夏蘭の自縛するがごとし

皆さんは子どもの時のあだ名を覚えていますか。

私の小学生の頃のあだ名は、「半袖少年」でした。なぜかといえば、毎日半袖を着ていたからです。今年の夏のように、暑い夏の日には半袖を着るのは当たり前ですが、真冬の雪の日でも半袖を着ていました。母親によれば、学校の先生からお子さんに長袖を買ってあげて下さいと注意されたとのこと。けれど、そんなことはどこ吹く風、毎日毎日半袖を着ていました。



では、なぜ半袖を着ていたのかと言え、答えは単純です。学校に行くくと、「毎日半袖ですごいね」と注目が集まるからです。子どもながらに、寒くても半袖を着て、みんなの期待に答えようと、そこに自分の存在意義を見出し出していたのです。

そんなある時、私はとうとうひどい風邪をひき、親に無理矢理に長袖を着せられ、学校へ行くことになりました。それは、忘れることのできない小学5年生の冬、厳しい寒さの日でした。私の心の中は不満だらけ。「やだな」「みんながつくりするだろうな」と思いながら登校すると、友達から一言。「温かくした方がいいよ」と言葉かけられました。知らぬ間に、私は鎧を着こんでいたのです。

中国の高僧曇鸞大師が書かれた『往生論註』とお聖教に、「蚕繭の自縛するがごとし」という喩があります。蚕繭とは蚕の繭のこと。蚕が自らの繭で自らの体を縛るように、自らの思いに縛られ、苦しんでいる人間の姿を表わしております。そのように、鎧を着よう着ようとするのが私の心であります。時には、その鎧の重さにつぶれそうになります。阿弥陀如来はそんな私にそのまま救うと誓われました。

その鎧を脱いでごらん、そのままのままであなたの命がめあてなんだと呼びかけて下さっています。私はもちろん友達に声をかけてもらったその日から半袖少年を卒業しました。しかし、大人になってもさまざまな鎧を着ようとしています。しかしそんな私だからこそ、阿弥陀如来は救わずにはおれないと誓いを立てられたのです。慈悲の心に照らされ、導かれる日々の尊さを思います。これからも阿弥陀如来の願いに導かれ、一歩一歩確かに歩いていきたいと思えます。

(若住職担当「心の法話」原稿 10月放送分より)

築地本願寺
電話で聞く
心の法話

- ①03-3541-0282
- ②03-3541-0294

活動報告



★「秋季彼岸会」無事勤まる
「暑さ寒さも彼岸まで」との言葉通り、雨の降る肌寒い日となった今年の秋分の日。亡き方々のご縁を通して、心静かに阿弥陀さまの願いを聞かせていただく尊いご縁となりました。お参りの方々、お手伝い下さった役員の方々、心より感謝申し上げます。

★お礼
申し上げます

碁盤&碁石 小林繁夫さん
西山安子さん
碁石 河田妙子さん
「囲碁クラブ」に寄付をいただきました。ありがとうございました。

天ちゃんの一言



親鸞聖人750回大遠忌記念事業
安穩灯火リレー
京都から全国へ、本願寺 御影堂の常夜灯を分灯します。
2011年4月から2012年1月まで、「親鸞聖人750回大遠忌」が勤まります。法要を前に、本願寺で365日、24時間消えることなく灯されている「常夜灯」を分灯し、全国を回ります。東京は先月無事通過しました！10月8日、京都到着の予定です。

住職の独り言

「念願の雨」
一雨に想いごとく

昨日は降った降った。台風の影響か？乾ききった大地に雨が降り注ぎ、生死をさ迷っていた木々や緑は大喜び。水まきはまよふもなく思っている。うしても偏りがあって、水まきできない部分が出来てしまうが、降り注ぐ雨には偏りはない。どんな木や緑も同じ恩恵を被る。

阿弥陀如来の救いの法も、雨と同じで全てに平等に降り注いでいる。

『御伝鈔』(覚如上人著)

「あまねく甘露の法雨をそそぎて、はるかに枯渴の凡惑を潤さんがためなりと。仰ぐべし、信ずべし。」
(9月8日掲載ブログより)

お寺の活動は「天真寺日記」でチェックしてください。

門信徒会日帰り旅行のお誘い



秋らしくなり、旅行にぴったりの季節です。毎年恒例の門信徒会旅行、今年も日帰りで計画いたしました。宇都宮の恵光寺様をお参りし、那須高原の温泉と紅葉を楽しみます。ぜひお誘い合わせの上、ご参加下さい。

[日程] 10月13日(水) [費用] 9500円 [募集人数] 25名

7:00 天真寺出発 → 9:00 浄土真宗本願寺派恵光寺参拝(宇都宮市)
(持ち物 式章・お念珠を忘れずに!)



→ 那須温泉旅館「山楽」にて 寛ぎの温泉タイムと&懐石ランチでゆっくり過ごします



ボルケーノハイウェイ → 鹿の湯 → 殺生石 → 7:00 天真寺着予定

※都合により場所や時間等に変更が生じる場合があります。ご了承下さい。

(発行元)
浄土真宗本願寺派 天真寺
千葉県松戸市金ヶ作106
047-389-0808
【ホームページ】
<http://www.tenshin.or.jp>

門信徒会入会のご案内
どなたでも入会いただけます。毎月、寺報と仏教冊子をお送りします。年会費3千円。